

せいわにし 学校だより

令和6年10月24日(木)
伊賀市立成和西小学校 No. 21
伊賀市大内624番地
<http://www.iga.ed.jp/seiwanishi-e/>

5・6年生「いじめ予防授業」

10月17日(木)、5・6年生合同で、昨年度に引き続き、「いじめ予防授業」を行いました。この授業は、県教育委員会と連携して、三重弁護士会子どもの権利委員会に所属する弁護士の皆様が、県内の小学校において、子どもたちに「いじめ防止」の理解を深めるために行っています。今年、田上弁護士が来校され、いじめと人権の関係について学びました。

田上さんから、弁護士の仕事についてお話を聞いた後、この事例は、いじめになるかどうかを考えたり、実際のいじめ事案から当事者の気持ちを考えたり、どうしたらいじめを止められるのか、その方法を考えたりしました。そして、「だれかをいじめていい理由なんてない」「いじめは絶対にだめ!」「相手の気持ちを想像し、気付くことが大事」「いじめは、人権～安心・自信・自由～を侵害するもの」「自分たちには、いじめを止める力がある」ということを学習しました。



3年生人権学習 ～川口さんのお話から

10月21日(月)、伊賀市役所生涯学習課にお勤めの川口素生さんに来ていただき、3年生で人権学習をしました。川口さんから市役所や生涯学習課の役割、人権を守ることの大切さについてお話を聞きました。

☆人権とは?…だれもがもっている自分らしく自由に幸せに生きる権利。

一人一人がかけがえのない存在。お互いを尊敬し合うことが大切。

☆いじめや差別をなくすための行動とは?

- 相手の気持ちを想像する…自分が言われたり、されたりしたらどうだろうか、自分に指を向けて考える。
- 自分のこれまでの言動をふり返る…見た目や思いこみ、決めつけで人を判断してしまったことはないだろうか。本当かどうか、相手と話をし、自分で確かめることが大事。思いこみ、決めつけをなくそう。
- みんながつながる…相手の話を聞いて、相手のことをよく知る。感想を返す。気持ちを伝える。相手のことをよく知ることで、つながりもさらに強くなる。人権学習や人とつながることは、自分のプラスになる。お互いを知ることで、何でも言える楽しく安心できるクラスにしていこう!



「ことばを大切にする」授業 ～3・4年生文化体験プログラム～

10月16日(水)、3・4年生で三重県生涯学習センター事業の文化体験プログラム授業を実施しました。

フリーアナウンサーをされている山上 和美さんに来ていただいて、「ことばを楽しむ ～聴く!話す!伝える! 伝える話し方」と題して、「ことばを大切にする」ことについて教えてもらいました。

はじめに山上さんから、アナウンサーは、「番組で話や司会をする、取材をする、原稿や台本を書く」という仕事をしていると説明されました。また、山上さんはアナウンサーとして、「言葉を大切に、伝えるように話す、人の話をよく聞く」ことを大事にされているそうです。そして、山上さんから次のことを聞きました。

【言葉を大切にすることは・・・】

- ・自分が言われて、うれしい言葉を使う。 ・人の心が痛くなったり、悲しくなったりする言葉は使わない。
- ・一度言った言葉は、言わなかったことにはできない。どんな言葉を使ったらよいか、考えてから言う

【言い方を工夫する】【クッション言葉を使う】

- ・何かをお願いするときには、「これやって」ではなく、「これやってください」
「これお願いします」など、ていねいをお願いする。
- ・すぐに言いたいことを言うのではなく、一言つけ加える。
「ちょっと、いいかな」「お話中、ごめんね」

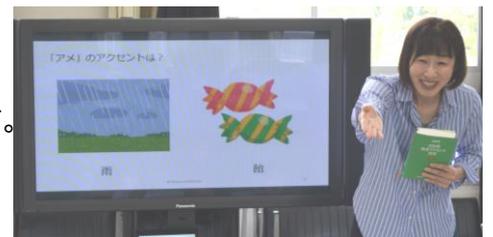
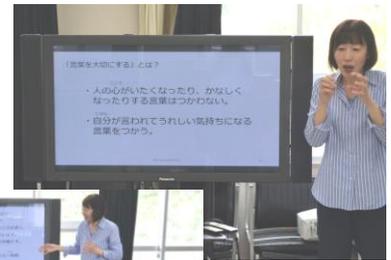
【伝えるように話すコツ】【伝えるように話す方法】

- ・自分の思いは、言葉で伝えないと相手にわかってもらえない。
 - ・「むり～」「やめろや～」では、相手に伝わらない。何が無理なのか、何をやめてほしいのか、相手にきちんと伝える。それをしないと、相手はわかってくれない。少しずつでよいので、思っていることを言葉にしてみよう。
 - ・頭で思ったことをそのまますぐに口にするのではなく、相手の頭の中、心の中を考えてみる。相手の頭の中、心の中を考えて話すと、おたがいわかり合える。
 - ・はじめに全体の話をしてから、次に細かいことについて話をする。
- 意見や感想を言うときも、まず自分の気持ちを言う。次に、その理由を話す。

【人の話をよく聞く方法】

- ・人が話しているときは、途中でわりこまない。最後まで聞く。
- ・自分のことばかり話す人は、相手のことを考えていない人だと思われる。
- ・自分と考えがちがっても、そういった考え方もあるのだと、その人のことを理解する。
- ・人から言葉をかけられたら、無視をせず、必ず言葉を返す。
- ・簡単な言葉でよいので、話を受け止めたことを相手に伝える。「わかった」「ありがとう」「気をつけるね」

その他にも、声を出すためにリラックスする体操や早口言葉の練習、友だちに伝えるように話すゲーム、アナウンサーになったつもりで天気予報を伝える練習など、わくわくする活動がたくさんありました。「ことばを大切に」「相手に伝えるように話す」「人の話をよく聞く方法」について、楽しく学習できました。



こんなことに気をつけたら
友だちと、さらに楽しい時間が
すごせるはずですよ。